

## 第6章

# 第2次健康こうた21計画の最終評価

## 1 評価方法

### (1) アンケート調査の概要

#### 【調査期間】

成人：令和5年11月2日～11月17日

小学生・中学生：令和5年10月10日～11月2日

#### 【調査対象者】

成人：幸田町在住の15歳以上の方1,000人を無作為抽出

小学生：幸田町の小学5年生の全数

中学生：幸田町の中学2年生の全数

#### 【調査方法】

成人：郵送配付及び回収

小学生・中学生：学校を通じたweb調査

#### 【回収結果】

対象	配付数	回収数	回収率
成人	1,000件	404件	40.4%
小学生	460件	324件	70.4%
中学生	410件	320件	78.0%

### (2) 判定区分

指標ごとに達成率を算出し、下記6区分で判定しました。

■目標達成度の判断基準判定区分	基準
A（達成・概ね達成）	目標を達成、または達成率90%以上
B+（改善）	達成率50%以上90%未満
B-（やや改善）	達成率10%以上50%未満
C（変わらない）	達成率-10%以上10%未満
D（悪化）	達成率-10%未満
E（判定不能）	判定不能

$$\text{※ 達成率} = \frac{(\text{令和5年度最終評価} - \text{ベースライン値※})}{(\text{目標値} - \text{ベースライン値})} \times 100$$

※ベースライン値とは第2次計画策定時（平成25年）の現状値のことをいいます。

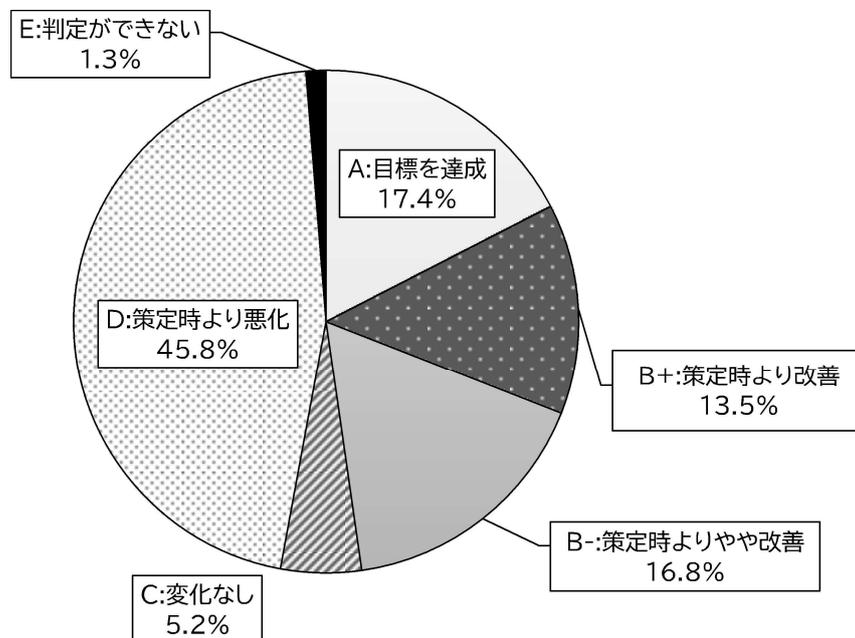
## 2 評価結果のまとめ

### (1) 指標の評価結果

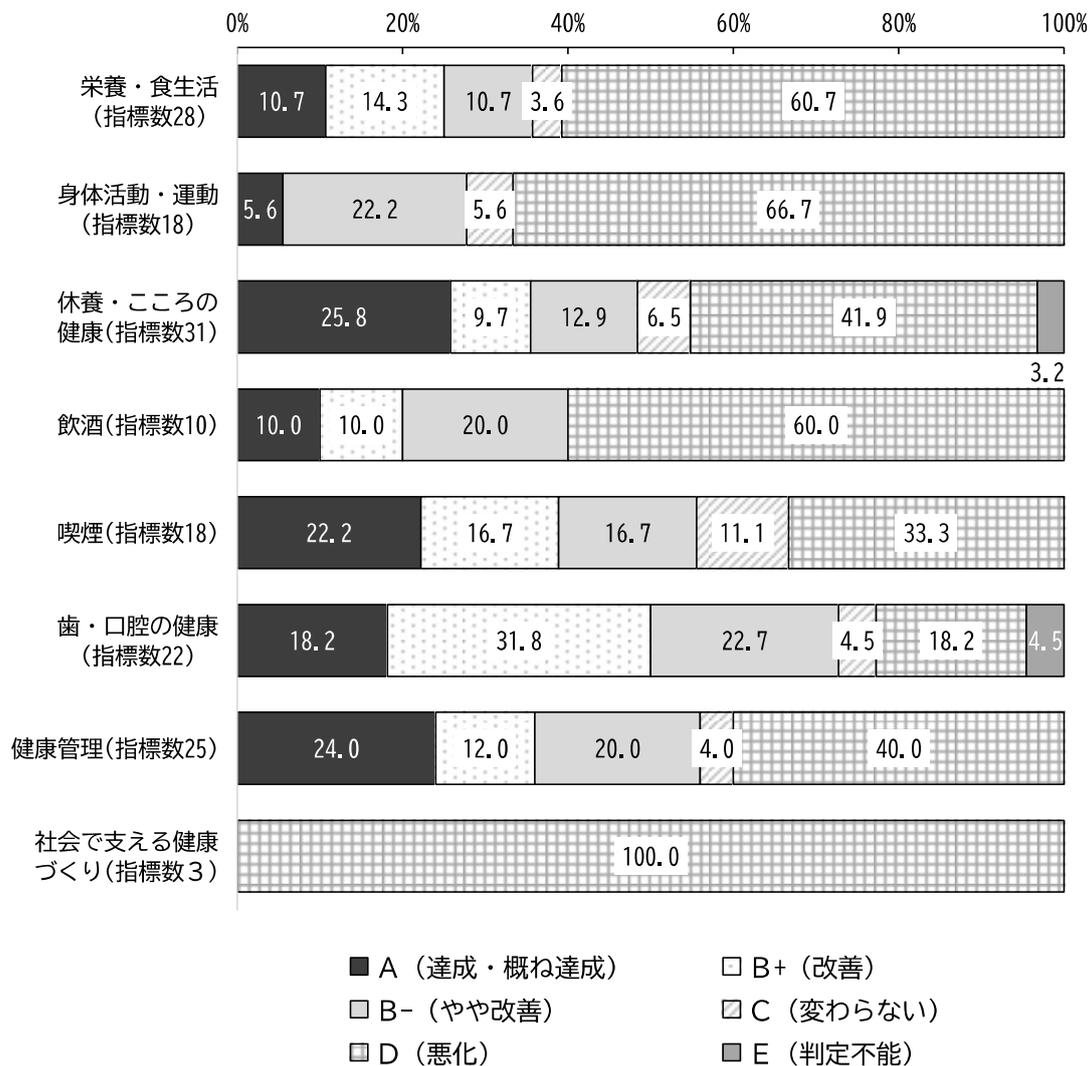
指標の目標達成状況は、全 155 指標のうち、達成・概ね達成（判定区分A）は 27 指標（全体の 17.4%）、改善（判定区分B+、B-）は 47 指標（全体の 30.3%）で、達成（判定区分A）と改善（判定区分B）を合わせると 74 指標で全体の 47.7%となりました。一方、悪化（判定区分D）と評価したのは、71 指標で、全体の 45.8%となりました。

■目標達成度の判断基準判定区分	基準	判定結果
A（達成・概ね達成）	目標を達成、または達成率 90%以上	27
B+（改善）	達成率 50%以上 90%未満	21
B-（やや改善）	達成率 10%以上 50%未満	26
C（変わらない）	達成率-10%以上 10%未満	8
D（悪化）	達成率-10%未満	71
E（判定不能）	判定不能	2

図：指標の評価結果



図：各分野の目標達成状況



比率はすべて百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100.0%にならない場合もあります。

表：各分野における指標の目標達成状況の内訳

「子ども・妊産婦」：0～19歳・妊産婦、「働きざかり」：20～64歳、「熟年」：65歳以上

分野	ライフステージ	指標数	A	B+	B-	C	D	E	A+B率(%)	D率(%)
栄養・食生活		28	3	4	3	1	17	0	35.7	60.7
	子ども・妊産婦	18	2	3	1	1	11	0	33.3	61.1
	働きざかり	7	1	0	2	0	4	0	42.9	57.1
	熟年	3	0	1	0	0	2	0	33.3	66.7
身体活動・運動		18	1	0	4	1	12	0	27.8	66.7
	子ども・妊産婦	10	1	0	0	0	9	0	10.0	90.0
	働きざかり	4	0	0	2	1	1	0	50.0	25.0
	熟年	4	0	0	2	0	2	0	50.0	50.0
休養・こころの健康		31	8	3	4	2	13	1	48.4	41.9
	子ども・妊産婦	16	5	2	1	2	6	0	50.0	37.5
	働きざかり	9	3	0	2	0	4	0	55.6	44.4
	熟年	6	0	1	1	0	3	1	33.3	50.0
飲酒		10	1	1	2	0	6	0	40.0	60.0
	子ども・妊産婦	3	1	1	1	0	0	0	100.0	0.0
	働きざかり	3	0	0	0	0	3	0	0.0	100.0
	熟年	4	0	0	1	0	3	0	25.0	75.0
喫煙		18	4	3	3	2	6	0	55.6	33.3
	子ども・妊産婦	9	0	2	3	0	4	0	55.6	44.4
	働きざかり	5	3	1	0	1	0	0	80.0	0.0
	熟年	4	1	0	0	1	2	0	25.0	50.0
歯・口腔の健康		22	4	7	5	1	4	1	72.7	18.2
	子ども・妊産婦	12	2	5	1	1	2	1	66.7	16.7
	働きざかり	5	0	1	2	0	2	0	60.0	40.0
	熟年	5	2	1	2	0	0	0	100.0	0.0
健康管理		25	6	3	5	1	10	0	56.0	40.0
	子ども・妊産婦	8	3	2	3	0	0	0	100.0	0.0
	働きざかり・熟年	17	3	1	2	1	10	0	35.3	58.8
社会で支える健康づくり		3	0	0	0	0	3	0	0.0	100.0
全体		155	27	21	26	8	71	2	47.7	45.8

A：達成・概ね達成

B+：改善

B-：やや改善

C：変わらない

D：悪化

E：判定不能

## (2) 個別の指標状況

### (ア) 栄養・食生活

#### ①子ども・妊産婦

乳幼児健康診査や各種講座・指導の中で朝食摂取の重要性やバランスの取れた食事の大切さについて普及・啓発してきました。また、学校を通じて子ども本人への食に関する教育を実施しました。

毎日朝食を食べる人の割合は小中学生ともに平成25年度から悪化しています。朝食を食べない理由は、小中学生ともに「食べる時間がない」が最も多く、次いで「お腹がすいていない」となっています。また、朝食を食べない中学生の中には、食べる習慣がない子どもが1割程度います。

やせ傾向にある人の割合はすべての指標区分において悪化しています。やせ傾向にあるにも関わらず、自分の体型を「ふつう」と捉えている人が中学2年生では約5割います。

指標		平成25年度 ベースライン値	平成30年度 中間評価値	令和5年度 最終評価	目標	評価
毎日朝食を食べる人の割合	3歳 <sup>※1</sup>	98.7%	97.8%	97.9%	増加	D
	小学5年生	91.4%	90.4%	90.1%	増加	D
	中学2年生	83.7%	78.3%	78.4%	増加	D
	妊婦 <sup>※2</sup>	81.4%	80.1%	74.8%	増加	D
毎食、主食・主菜・副菜をそろえて食べる（1日に2回以上ほとんど毎日そろえて食べる）人の割合	3歳 <sup>※1</sup>	42.8%	55.6%	55.7%	60.0%以上	B+
	小学5年生	49.6%	70.0%	71.3%	75.0%以上	B+
	中学2年生	44.5%	61.9%	59.7%	65.0%以上	B+
	妊婦 <sup>※2</sup>	43.1%	46.6%	44.4%	60.0%以上	C
	30代女性	25.0%	38.9%	30.8%	40.0%以上	B-
40代女性	22.9%	46.7%	50.0%	50.0%以上	A	
肥満傾向にある子どもの割合	3歳 <sup>※1</sup>	4.3%	4.4%	4.8%	減少	D
	小学5年生	5.3%	4.9%	7.7%	減少	D
	中学2年生	6.4%	6.1%	5.3%	減少	A
やせ傾向にある人の割合	3歳 <sup>※1</sup>	0.6%	0.2%	0.9%	減少	D
	小学5年生	1.5%	1.1%	3.1%	減少	D
	中学2年生	3.9%	3.6%	9.1%	減少	D
	20~30代女性	19.6%	18.4% <sup>※4</sup>	22.7% <sup>※4</sup>	減少	D
低出生体重児の割合	出生時	12.3% <sup>※3</sup>	8.3% <sup>※5</sup>	12.6% <sup>※5</sup>	減少	D

※1：3歳児健康診査結果（平成24年度・平成29年度・令和4年度）

※2：母子健康手帳交付アンケート調査結果（平成24年度・平成29年度・令和4年度）

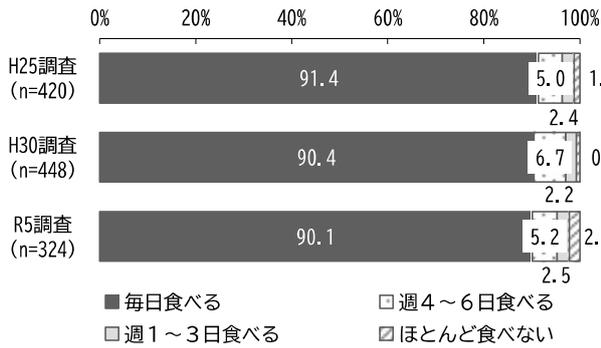
※3：幸田の子どもの発育と健康状態（平成24年度）

※4：幸田町住民健診健康診査・人間ドック健康診査結果（平成29年度・令和4年度）

※5：愛知県衛生年報（平成28年・令和3年）

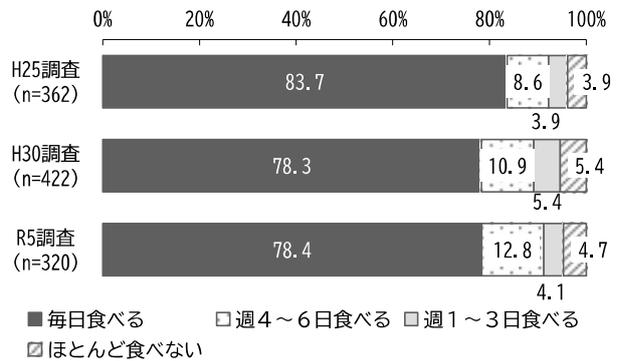
※印のないものは幸田町健康づくりに関するアンケート調査結果

■小学生の朝食の頻度（経年比較）



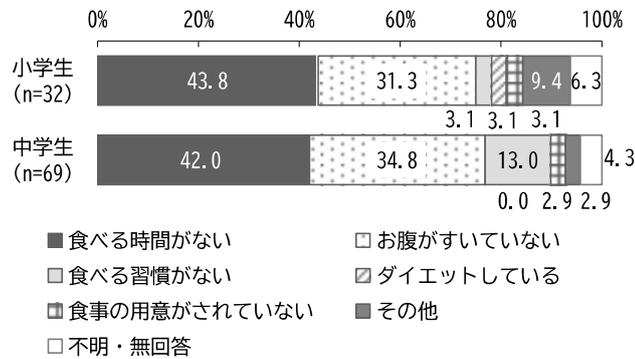
出典：健康づくりに関するアンケート調査結果

■中学生の朝食の頻度（経年比較）



出典：健康づくりに関するアンケート調査結果

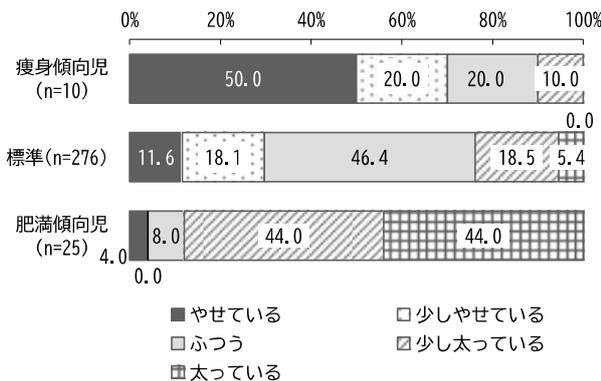
■朝食を食べない理由（小学5年生・中学2年生）



出典：令和5年度健康づくりに関するアンケート調査結果

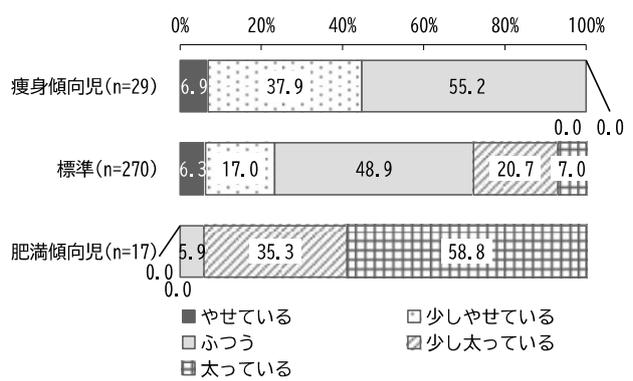
■『BMI』と『自分の体型についてどのように思っているか』のクロス集計結果

（小学5年生）



出典：令和5年度健康づくりに関するアンケート調査結果

（中学2年生）



出典：令和5年度健康づくりに関するアンケート調査結果

比率はすべて百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100.0%にならない場合もあります。

## ②働きざかり

各種教室や健康相談等で1日3食食べる必要性や主食・主菜・副菜をそろえてバランスを整える大切さについての普及・啓発や望ましい食への関心と食行動を促す取組を実施しました。またこうした食生活改善ボランティアや地域の生産者などとともに野菜摂取向上の普及・啓発を実施しました。

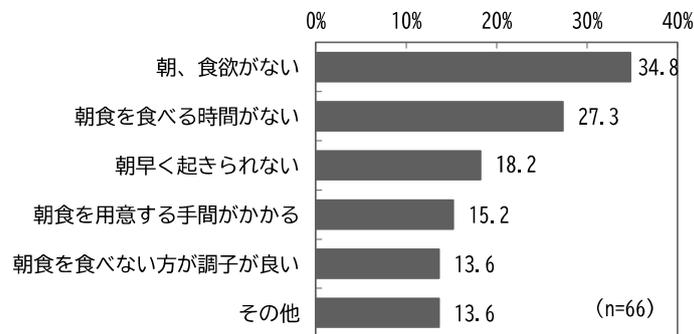
毎食、主食・主菜・副菜をそろえて食べる人の割合は増加したものの、朝食を毎日食べる人の割合や1日あたりの野菜摂取量が減少しています。朝食を食べない理由には、「朝、食欲がない」「朝食を食べる時間がない」「早く起きられない」などがあります。

指標		平成25年度 ベースライン値	平成30年度 中間評価値	令和5年度 最終評価値	目標	評価
毎食、主食・主菜・副菜をそろえて食べる（1日に2回以上ほとんど毎日そろえて食べる）人の割合		34.8%	47.6%	51.8%	50.0%以上	A
朝食を毎日食べる人の割合	20代男性	68.8%	80.0%	57.1%	85.0%	D
	30代男性	57.7%	76.2%	62.5%	80.0%	B-
毎日3食きちんと食べている人の割合		72.6%	55.6%	69.5%	80.0%以上	D
外食や食品購入時にカロリーや塩分などの栄養成分表示を参考にする人の割合		40.6%	39.8%	37.9%	50.0%以上	D
1日あたりの野菜摂取量		206 g	179 g	173 g	300 g	D
食育推進協力店の登録件数※ <sup>1</sup>		14店	27店	23店	55店	B-

※1：食育推進協力店とは、愛知県に登録された施設（飲食店やコンビニエンスストア等）で、食品の栄養成分表示を行うとともに、食育や健康に関する情報を提供する施設

※印のないものは幸田町健康づくりに関するアンケート調査結果

### ■朝食を食べない理由（働きざかり・上位5位を抜粋）



出典：令和5年度健康づくりに関するアンケート調査結果

### ③熟年

こうした健康マイレージ事業や介護予防教室等を通じて、生活習慣病や低栄養の予防を目的とした健康教育や、改善した食習慣の継続に関する啓発活動を実施しました。また、こうした食生活改善ボランティアによる食事とコミュニケーションの場の提供を行いました。

毎日3食きちんと食べている人の割合と低栄養傾向高齢者の割合は悪化していますが、毎食、主食・主菜・副菜をそろえて食べる人の割合は改善しています。

指標	平成 25 年度 ベースライン値	平成 30 年度 中間評価値	令和 5 年度 最終評価	目標	評価
毎食、主食・主菜・副菜をそろえて食べる（1日に2回以上ほとんど毎日そろえて食べる）人の割合	46.7%	68.9%	60.9%	70.0%以上	B+
毎日3食きちんと食べている人の割合	89.9%	79.2%	78.3%	90.0%	D
低栄養傾向高齢者（BMI 20 以下）の割合※1		20.3%	20.4%	19.9%	D

※1：幸田町住民健康診査・人間ドック健康診査結果（令和5年度）

※印のないものは幸田町健康づくりに関するアンケート調査結果

## (イ) 身体活動・運動

### ①子ども・妊産婦

スポーツイベントの開催や運動できる場所の活用、親子遊びの紹介を実施しました。

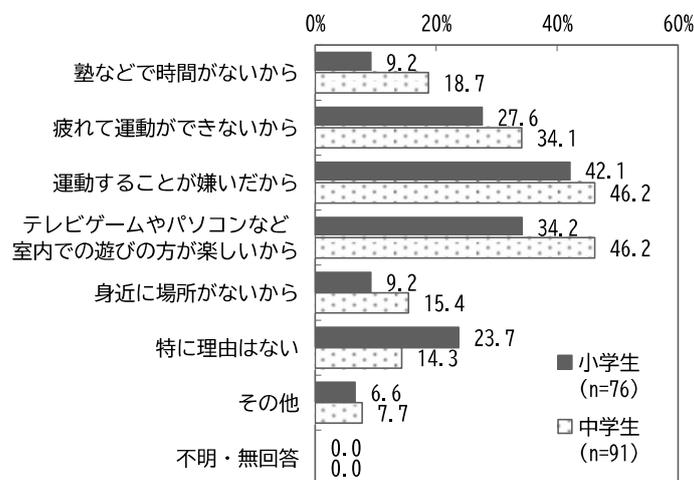
平成 25 年度・平成 30 年度と比較してほとんどの項目で悪化しており、子どもの運動・身体活動量は全体的に減少していると考えられます。運動をしない理由として、運動自体がきらいであることや、テレビゲームやパソコンなどの遊び方が好まれていること、塾をはじめとした習い事での忙しさなど、運動に取り組みにくい生活環境となっていることが推測されます。

指標		平成 25 年度 ベースライン値	平成 30 年度 中間評価値	令和 5 年度 最終評価	目標	評価
スポーツや運動が好きな小中学生の割合	小学 5 年生	79.4%	79.9%	75.0%	90.0%以上	D
	中学 2 年生	75.1%	76.9%	73.1%	80.0%以上	D
外で体を使って遊んだり、運動をしている小中学生の割合	小学 5 年生	86.2%	83.3%	76.5%	増加	D
	中学 2 年生	85.6%	81.5%	71.6%	増加	D
学校の体育の授業以外で運動やスポーツをする時間が（1週間の）合計で1時間未満の小中学生の割合	小学 5 年生 男子		7.0%※ <sup>1</sup>	3.8%	減少	A
	小学 5 年生 女子		12.9%※ <sup>1</sup>	18.2%	減少	D
	中学 2 年生 男子		6.6%※ <sup>1</sup>	9.3%	減少	D
	中学 2 年生 女子		19.9%※ <sup>1</sup>	20.7%	減少	D
新しいスポーツをやってみたいと答える小中学生の割合	小学 5 年生			64.5%	90.0%以上	D
	中学 2 年生			63.4%	80.0%以上	D

※1：平成 29 年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書 基礎集計（愛知県データ）スポーツ庁

※印のないものは幸田町健康づくりに関するアンケート調査結果

### ■運動をしない理由（小学 5 年生、中学 2 年生）



出典：令和 5 年度健康づくりに関するアンケート調査結果

## ②働きざかり

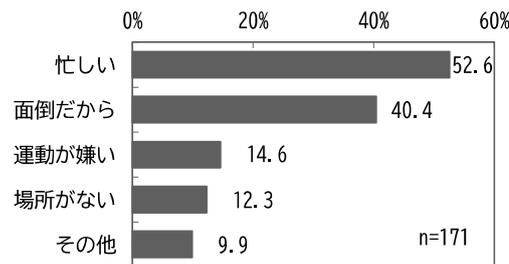
健康講座や町内企業への出前講座の開催、スポーツ施設の夜間開放を実施しました。

運動習慣のある人の割合はやや増加しましたが、生活の中で体を動かす工夫をしている人の割合は減少しています。また、運動しない理由としては「忙しい」と「面倒だから」が上位となりました。

指標	平成 25 年度 ベースライン値	平成 30 年度 中間評価値	令和 5 年度 最終評価	目標	評価
運動習慣のある人の割合（1日 30 分以上、週 2 回以上、1 年以上）	19.4%	19.8%	25.0%	35.0%以上	B-
生活の中で体を動かす工夫をしている人の割合	65.7%	64.3%	64.0%	80.0%以上	D
運動不足と感じる人の割合	83.3%	82.0%	79.0%	70.0%以下	B-
「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」を知っている人の割合		14.3%	16.2%	80.0%以上	C

幸田町健康づくりに関するアンケート調査結果

### ■運動をしない理由（働きざかり・上位 5 項目）



出典：令和 5 年度健康づくりに関するアンケート調査結果

## ③熟年

自主活動グループの支援やお達者体操の普及、介護予防教室の開催、フレイルの周知を目的とした広報活動を実施しました。

運動することが転倒予防にも効果があると知っている人の割合は増加しました。しかし、実際の運動習慣や身体活動量の増加にはつながっていません。

指標	平成 25 年度 ベースライン値	平成 30 年度 中間評価値	令和 5 年度 最終評価	目標	評価
運動習慣のある人の割合（1日 30 分以上、週 2 回以上、1 年以上）	42.6%	49.5%	33.7%	60.0%以上	D
運動することが転倒予防にも効果があると知っている人の割合	57.9%	62.9%	60.9%	65.0%以上	B-
生活の中で体を動かす工夫をしている人の割合	79.0%	84.1%	60.9%	85.0%以上	D
「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」を知っている人の割合	14.0%	28.0%	23.9%	80.0%以上	B-

幸田町健康づくりに関するアンケート調査結果

## (ウ) 休養・こころの健康

### ①子ども・妊産婦

地域や異世代との交流の場の提供や、育児不安や子どもの発達状況に応じた相談体制の充実、メディア利用に関する教育を実施しました。

「自分のことが好きである」と回答した小中学生は目標を達成しており、不安やイライラを自ら解消できる小中学生の割合も改善しています。一方で、家族と1日1回以上ほとんど毎日一緒に食事をする小中学生の割合がいずれも減少しています。

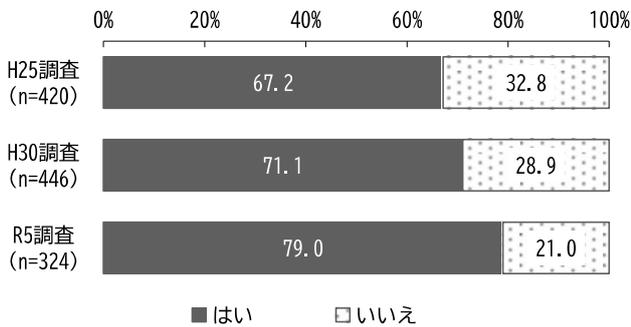
子育ての相談相手がいる母親の割合は3歳、1歳半、4か月児健診において変化なしまたは悪化しています。

指標		平成 25 年度 ベースライン値	平成 30 年度 中間評価値	令和 5 年度 最終評価	目標	評価
自分のことが好きな 小中学生の割合	小学 5 年生	67.2%	71.1%	79.0%	増加	A
	中学 2 年生	50.3%	43.3%	60.0%	増加	A
学校が楽しいと感じ る小中学生の割合	小学 5 年生	88.9%	91.3%	95.4%	増加	A
	中学 2 年生	88.1%	86.3%	86.0%	増加	D
家族と 1 日 1 回以上 ほとんど毎日一緒に 食事をする小中学生 の割合	小学 5 年生	87.9%	86.1%	83.6%	増加	D
	中学 2 年生	82.0%	74.6%	69.1%	増加	D
この 1 年間で地域の 行事に参加したこと がある小中学生の割 合	小学 5 年生	90.6%	93.0%	87.7%	増加	D
	中学 2 年生	63.3%	66.3%	83.8%	増加	A
不安やイライラを自 ら解消できる小中 学生 の割合	小学 5 年生	64.5%	66.2%	85.8%	80.0%以上	A
	中学 2 年生	70.1%	81.1%	77.4%	80.0%以上	B+
ゆったりとした気分 で子どもと接する ことができる母親の割 合	3 歳児健診※ <sup>1</sup>	63.6%	71.6%	71.8%	75.0%以上	B+
	1 歳半健診※ <sup>1</sup>	76.5%	80.6%	78.0%	85.0%以上	B-
	4 か月児健診※ <sup>1</sup>	87.3%	86.1%	86.9%	90.0%以上	D
子育ての相談相手 がいる母親の割合	3 歳児健診※ <sup>1</sup>	97.2%	97.8%	97.2%	100.0%	C
	1 歳半健診※ <sup>1</sup>	97.8%	97.4%	97.8%	100.0%	C
	4 か月児健診※ <sup>1</sup>	99.4%	98.2%	96.9%	100.0%	D

※<sup>1</sup>：乳幼児健康診査結果（平成 24 年度・平成 29 年度・令和 4 年度）

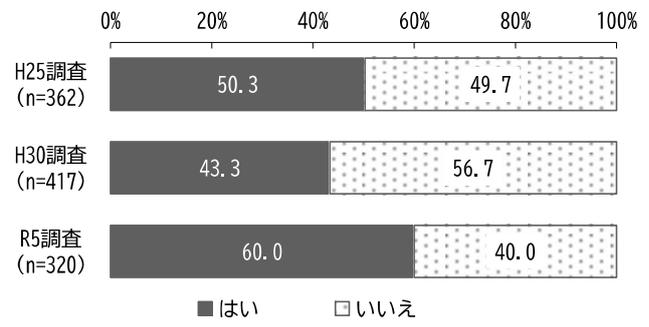
※印のないものは幸田町健康づくりに関するアンケート調査結果

■自分のことが好きか・小学5年生（経年比較）



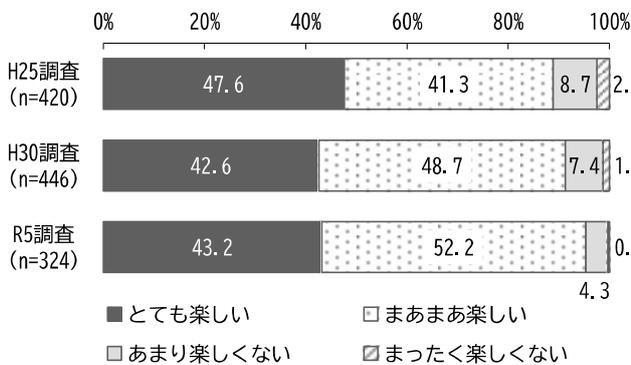
出典：健康づくりに関するアンケート調査結果

■自分のことが好きか・中学2年生（経年比較）



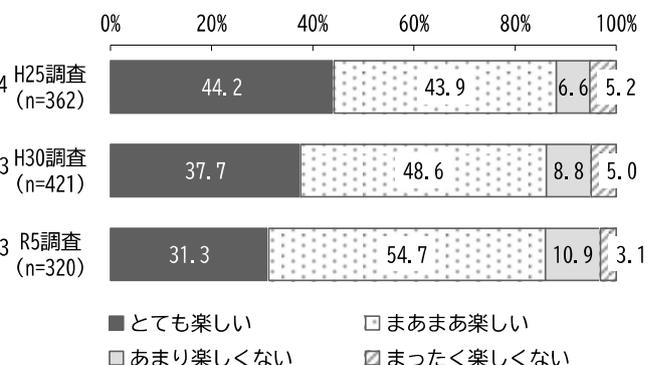
出典：健康づくりに関するアンケート調査結果

■学校生活について・小学5年生（経年比較）



出典：健康づくりに関するアンケート調査結果

■学校生活について・中学2年生（経年比較）



出典：健康づくりに関するアンケート調査結果

②働きざかり

ストレスやこころの健康及び休養についての正しい知識の普及や相談体制の充実・情報提供、ゲートキーパーの養成と周知を実施しました。

睡眠による休養を十分とれていない人の割合や、生きがいや趣味のある人の割合は計画策定時より改善しています。あいさつをしている人の割合、近所づきあいをする人の割合、困ったときや心配ごとがあるときに相談する人がいる割合はいずれも悪化しています。自殺に関する指標は改善傾向がみられます。

指標	平成25年度 ベースライン値	平成30年度 中間評価値	令和5年度 最終評価	目標	評価
ストレス解消法のある人の割合	77.1%	74.5%	75.7%	85.0%以上	D
睡眠による休養を十分とれていない人の割合	46.6%	48.4%	31.2%	30.0%以下	A
生きがいや趣味のある人の割合	77.0%	76.5%	80.1%	90.0%以上	B-
あいさつをしている人の割合	94.6%	90.4%	66.2%	増加	D
近所づきあいをする人の割合	39.8%	32.9%	26.5%	50.0%以上	D

指標		平成 25 年度 ベースライン値	平成 30 年度 中間評価値	令和 5 年度 最終評価	目標	評価	
困ったときや心配ごとがあるときに相談する人の割合	いる	86.7%	87.7%	82.4%	増加	D	
自殺標準化死亡比 (H30~R4)※1	男性	61.4	70.1	49.1	減少	A	
	女性	60.5	75.8	53.5	減少	A	
自殺死者数※1		/		5人	4人	0人	B-

※1：愛知県衛生研究所

※印のないものは幸田町健康づくりに関するアンケート調査結果

### ③熟年

ふれあい・いきいきサロンやげんきかいなど、地域に根付いている行事を継続してきましたが、新型コロナウイルス感染症の流行時には中止しました。

生きがいや趣味のある人、区の行事に参加している人、ボランティア活動をしている人の割合は、減少しています。自分なりのストレス解消法のある人の割合や毎日が楽しいと思う人の割合は増加しました。

指標	平成 25 年度 ベースライン値	平成 30 年度 中間評価値	令和 5 年度 最終評価	目標	評価
生きがいや趣味のある人の割合	78.7%	79.2%	70.7%	85.0%以上	D
区の行事に参加している人の割合	49.5%	50.5%	32.6%	60.0%以上	D
過去 1 年間に何らかのボランティア活動をしている人の割合	29.6%	36.9%	28.3%	増加	D
自分なりのストレス解消法のある人の割合	68.9%	79.8%	69.6%	75.0%以上	B-
健康について心配があるときに相談する人の割合※1	82.4%	85.1%	-	増加	E
毎日が楽しいと思う人の割合	79.7%	80.7%	82.6%	85.0%以上	B+

※1：令和 5 年度健康づくりに関するアンケート調査の質問項目から削除したため、判定不能（E）としました。  
幸田町健康づくりに関するアンケート調査結果

## (工) 飲酒

### ①子ども・妊産婦

健診等で、飲酒が母体や子どもに与える影響について周知を行いました。小中学校では、飲酒に関する正しい知識の普及を実施しました。

妊娠中に飲酒している人の割合は目標値を達成しています。飲酒経験のある小中学生の割合は減少し、改善しています。

指標		平成 25 年度 ベースライン値	平成 30 年度 中間評価値	令和 5 年度 最終評価	目標	評価
飲酒経験がある人の割合	小学 5 年生	17.6%	10.2%	6.2%	0.0%	B+
	中学 2 年生	15.9%	8.6%	13.4%	0.0%	B-
妊娠中に飲酒している人の割合	妊婦※ <sup>1</sup>	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	A

※1：妊娠届出書（平成 24 年度・平成 29 年度・令和 4 年度）

※印のないものは幸田町健康づくりに関するアンケート調査結果

### ②働きざかり

健康相談や講座等において、飲酒と生活習慣病などの関連についての周知・啓発を実施しました。

生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合は、目標を達成していません。

指標		平成 25 年度 ベースライン値	平成 30 年度 中間評価値	令和 5 年度 最終評価	目標	評価
節度ある適度な量の飲酒の知識を持っている人の割合		39.1%	23.2%	37.5%	50.0%以上	D
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合※ <sup>1</sup>	男性（2 合以上）	12.3%	19.7%	18.3%	10.0%以下	D
	女性（1 合以上）	7.8%	15.1%	18.0%	5.0%以下	D

※1：特定健診・特定保健指導情報データを活用した分析・評価（令和 2 年度）

※印のないものは幸田町健康づくりに関するアンケート調査結果

### ③熟年

健康相談や講座等において、飲酒と生活習慣病などの関連についての周知・啓発や健診等で飲酒によるからだの影響を確認できる機会を設けました。

男性は飲酒頻度が高く、女性は飲酒頻度が低いです。生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合は男女ともに増加しました。

指標		平成 25 年度 ベースライン値	平成 30 年度 中間評価値	令和 5 年度 最終評価	目標	評価
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合※ <sup>1</sup>	男性（2 合以上）		8.4%	12.4%	減少	D
	女性（1 合以上）		3.5%	6.0%	減少	D
毎日飲酒している人の割合	男性（2 合以上）		40.1%	34.1%	20.0%	B-
	女性（1 合以上）		5.1%	8.3%	2.0%	D

※1：特定健診・特定保健指導情報データを活用した分析・評価（令和 2 年度）

※印のないものは幸田町健康づくりに関するアンケート調査結果

## (オ) 喫煙

### ①子ども・妊産婦

健診等で、喫煙が母体や子どもに与える影響について周知を行いました。小中学校では、喫煙に関する正しい知識の普及を実施しました。

小中学生の家族や妊婦の家族において喫煙者の割合は減少し、改善がみられました。3歳児健診で母親に喫煙習慣の有無をたずねたところ、喫煙者数に増加がみられました。小中学生の9割以上は喫煙経験がありません。

指標		平成25年度 ベースライン値	平成30年度 中間評価値	令和5年度 最終評価	目標	評価
育児期間中の両親の 喫煙率※ <sup>1</sup>	父親		35.0%	27.2%	25.0%以下	B+
	母親		3.0%	3.8%	2.5%以下	D
母親の喫煙者の割合	3歳児の母親※ <sup>1</sup>	4.7%	3.1%	6.5%	0.0%	D
喫煙経験のある小中 学生の割合	小学5年生	0.5%	0.2%	1.2%	0.0%	D
	中学2年生	1.7%	0.4%	1.9%	0.0%	D
小中学生の前で家族 が喫煙する割合	小学5年生	43.9%	35.4%	32.1%	0.0%	B-
	中学2年生	40.6%	38.5%	30.3%	0.0%	B-
妊婦の喫煙者の割合	妊婦※ <sup>2</sup>	2.1%	2.0%	0.6%	0.0%	B+
妊婦の同居家族の喫 煙者の割合	妊婦※ <sup>2</sup>	19.5%	12.4%	11.1%	0.0%	B-

※1：乳幼児健康診査（平成24年度・平成29年度・令和4年度）

※2：妊娠届出書（平成24年度・平成29年度・令和4年度）

※印のないものは幸田町健康づくりに関するアンケート調査結果

## ②働きざかり

喫煙者へCOPDや禁煙支援医療機関のリーフレットの配布、受動喫煙の健康への影響に関する周知啓発、相談等を実施しました。

喫煙している人の割合は男女ともに減少しており、受動喫煙防止対策実施施設認定数は増加しています。一方で、COPDの認知度は低い状況です。

指標		平成 25 年度 ベースライン値	平成 30 年度 中間評価値	令和 5 年度 最終評価	目標	評価
喫煙している人の割合	男性	35.2%	28.6%	23.3%	17%以下	B+
	女性	9.4%	6.8%	3.5%	4.0%以下	A
禁煙または分煙していない家庭の割合		11.2%	10.7%	8.0%	減少	A
受動喫煙防止対策実施施設認定数※ <sup>1</sup>		53 施設	80 施設	82 施設	増加	A
COPD（慢性閉塞性肺疾患）を知っている人の割合		17.0%	16.2%	21.3%	80.0%以上	C

※1：愛知県健康対策課 受動喫煙防止対策実施認定施設データベース（平成 29 年度・令和 4 年度）

※印のないものは幸田町健康づくりに関するアンケート調査結果

## ③熟年

喫煙と生活習慣病などの関連についての周知・啓発や、喫煙者と希望者に対してのCOPDや禁煙支援医療機関のリーフレット配布等を実施しました。

喫煙している女性の割合とCOPDを知っている人の割合は悪化しています。

指標		平成 25 年度 ベースライン値	平成 30 年度 中間評価値	令和 5 年度 最終評価	目標	評価
喫煙している人の割合	男性	21.9%	14.6%	22.7%	10.0%以下	C
	女性	2.2%	3.6%	10.4%	減少	D
禁煙または分煙していない家庭の割合		9.7%	7.7%	4.3%	減少	A
COPD（慢性閉塞性肺疾患）を知っている人の割合		25.7%	17.3%	17.4%	80.0%以上	D

幸田町健康づくりに関するアンケート調査結果

## (カ) 歯・口腔の健康

### ①子ども・妊産婦

健診等でう蝕<sup>しよく</sup>予防のための歯磨き方法や生活習慣の指導、食習慣について周知や定期的な歯科健診の推奨、学校での歯科保健・健康教育の充実等、環境整備に取り組みました。

1日2回以上歯みがきをする小学5年生の割合は減少していますが、全体的に改善傾向にあります。

指標		平成25年度 ベースライン値	平成30年度 中間評価値	令和5年度 最終評価	目標	評価
う蝕 <sup>しよく</sup> のない人の割合	3歳 <sup>※1</sup>	84.4%	89.6%	93.5%	95.0%以上	B+
	12歳 <sup>※2</sup>	65.4%	80.3%	85.2%	90.0%以上	B+
1人平均う歯数 <sup>※2</sup>	小学3年生(第1第一大臼歯数)	0.49本	0.16本	0.06本	減少	A
	中学1年生(DMF指数)	0.70本	0.41本	-	減少	E
歯肉に炎症所見を有する人の割合 <sup>※2</sup>	14歳	6.7%	3.9%	3.1%	3.0%以下	A
保護者による仕上げみがきがされていない幼児の割合 <sup>※1</sup>	1歳半健診	6.0%	2.6%	2.9%	1.0%以下	B+
1日2回以上歯みがきをする小中学生の割合	小学5年生	90.8%	92.0%	86.1%	95.0%以上	D
	中学2年生	82.6%	89.6%	84.1%	90.0%以上	B-
給食後の歯みがきを実施している施設の割合 <sup>※2</sup>	中学校	0.0%	33.0%	0.0%	増加	C
フッ化物洗口を実施している施設の割合 <sup>※2</sup>	幼稚園、保育園、小学校、中学校	5.0%	9.5%	0.0%	15.0%以上	D
妊婦、産婦歯科健診受診者の割合 <sup>※3</sup>	妊婦	34.3%	38.2%	38.7%	40.0%	B+
	産婦	16.1%	20.6%	23.4%	25.0%	B+

※1：乳幼児健康診査（平成24年度・平成29年度・令和4年度）

※2：地域歯科保健業務状況報告（平成24年度・平成29年度・令和4年度）

※3：妊婦・産婦歯科健康診査（平成24年度・平成29年度・令和4年度）

※印のないものは幸田町健康づくりに関するアンケート調査結果

## ②働きざかり

定期的な歯科健診（検診）を受けやすい環境整備を実施しました。

歯磨き習慣のある人の割合やかかりつけ歯科医を持っている人の割合は、ベースライン値と比較して減少しています。

指標		平成 25 年度 ベースライン値	平成 30 年度 中間評価値	令和 5 年度 最終評価	目標	評価
歯磨き習慣（1日2回以上）のある人の割合		79.2%	76.2%	77.2%	85.0%	D
かかりつけ歯科医を持っている人の割合		78.1%	79.8%	76.1%	85.0%	D
定期的に歯科健診を受けている人の割合		46.6%	54.0%	53.3%	55.0%以上	B+
歯周疾患検診受診率※1	40歳	9.3%	10.0%	9.9% (県:8.5%)※2	15.0%以上	B-
	50歳	9.0%	11.1%	12.7% (県:8.5%)※2	20.0%以上	B-

※1：幸田町歯周疾患健診受診者数（平成24年度・平成29年度・令和4年度）

※2：令和4（2022）年度愛知県歯科保健事業実施報告

※印のないものは幸田町健康づくりに関するアンケート調査結果

## ③熟年

歯や口の健康に関する情報提供や健康教育の実施、8020運動の推進、オーラルフレイル予防のために口腔機能の維持を推進しました。

熟年世代の歯の指標は概ね改善傾向にあります。

指標	平成 25 年度 ベースライン値	平成 30 年度 中間評価値	令和 5 年度 最終評価	目標	評価
かかりつけ歯科医を持っている人の割合	88.8%	95.2%	89.1%	増加	A
定期的に歯科健診を受けている人の割合	60.7%	67.6%	63.0%	75.0%以上	B-
歯周疾患検診受診率（70歳） （節目歯科健診）※1	12.5%	18.1%	17.8%	30.0%以上	B-
24本以上自分の歯を有する者の割合		47.5%	48.9%	50.0%	B+
8020運動受賞者の人数※2		47人	63人	増加	A

※1：幸田町歯周歯科健診（平成24年度・平成29年度・令和4年度）

※2：8020運動受賞者（平成30年度・令和4年度）

※印のないものは幸田町健康づくりに関するアンケート調査結果

## (キ) 健康管理

### ①子ども・妊産婦

適切な生活習慣やメディアの過剰使用による健康問題についての知識の普及、相談の実施、情報モラル研修の開催、子どもの発達と事故防止の知識の普及を実施しました。

望ましい時間までに就寝している小中学生の割合はいずれも増加し、就寝時刻に関する生活習慣は改善しています。一方で、デジタル機器の使用時間が長いほど就寝時刻が遅い傾向がみられます。

家庭における幼児の事故防止対策についても改善傾向がみられます。

#### (1) 健康管理

指標		平成 25 年度 ベースライン値	平成 30 年度 中間評価値	令和 5 年度 最終評価	目標	評価
望ましい時間までに就寝している人の割合	3 歳児（午後 9 時まで）※1	16.3%	18.1%	26.1%	25.0%	A
	小学 5 年生（午後 10 時まで）	62.8%	70.4%	72.6%	75.0%	B+
	中学 2 年生（午後 11 時まで）	45.5%	53.0%	58.4%	60.0%	B+
メディア利用のルールを決めていない人の割合	小学 5 年生		26.4%	16.0%	減少	A
	中学 2 年生		41.9%	35.3%	減少	A

※1：3 歳児健康診査結果（平成 24 年度・平成 29 年度・令和 4 年度）

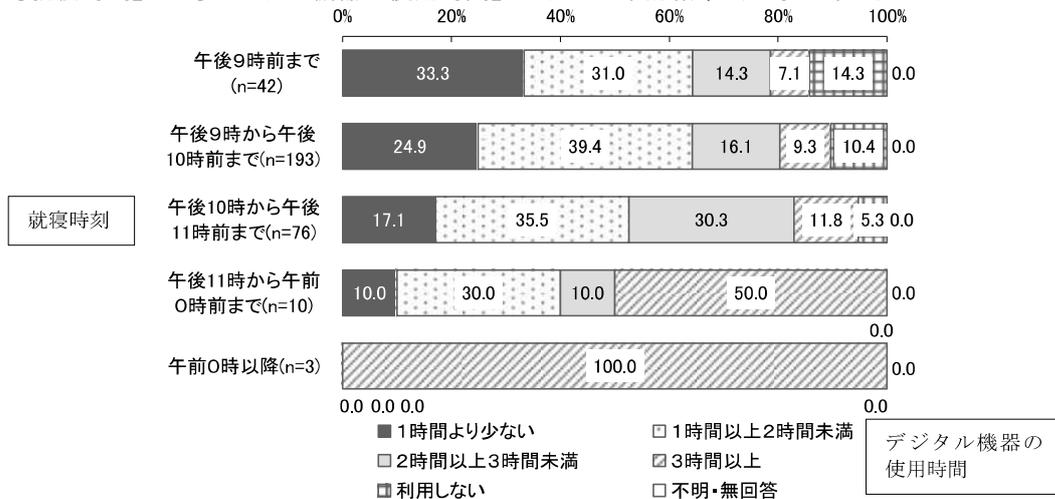
※印のないものは幸田町健康づくりに関するアンケート調査結果

#### (2) 事故防止

指標		平成 25 年度 ベースライン値	平成 30 年度 中間評価値	令和 5 年度 最終評価	目標	評価
事故防止対策をしている家庭の割合 ※1	3 歳児（転落）	95.9%	97.1%	97.9%	100.0%	B-
	1 歳半児（浴室）	60.0%	54.9%	64.2%	100.0%	B-
	4 か月児（誤飲）	78.9%	78.7%	82.9%	100.0%	B-

※1：乳幼児健康診査結果（平成 24 年度・平成 29 年度・令和 4 年度）

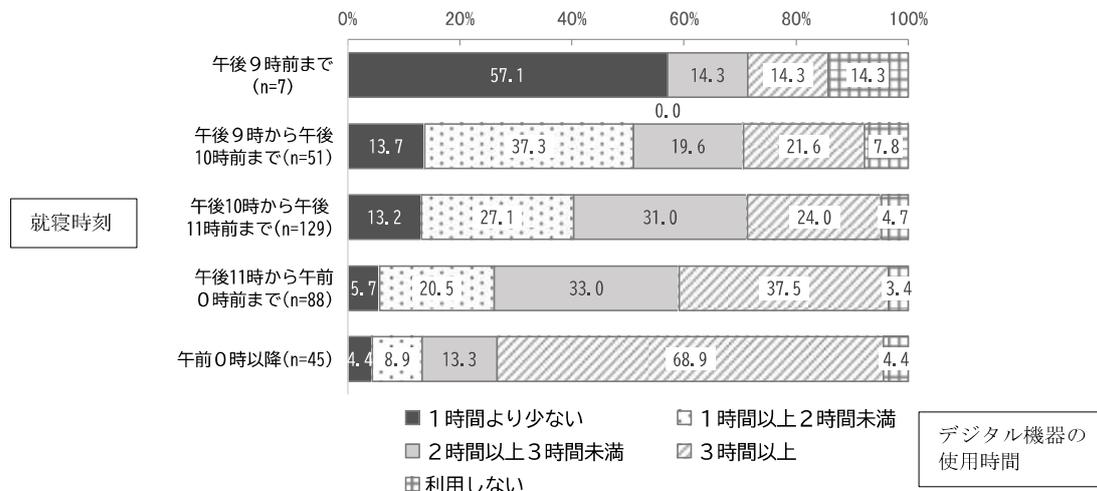
#### ■『就寝時刻』と『デジタル機器の使用時間』のクロス集計結果（小学 5 年生）



出典：令和 5 年度健康づくりに関するアンケート調査結果

比率はすべて百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が 100.0%にならない場合もあります。

■ 『就寝時刻』と『デジタル機器の使用時間』のクロス集計結果（中学2年生）



出典：令和5年度健康づくりに関するアンケート調査結果

比率はすべて百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100.0%にならない場合もあります。

②働きざかり（20～64歳）・熟年（65歳以上）

疾病や健診（検診）の必要性についての情報提供や健診体制の充実、相談支援、健康経営に関する知識の普及を実施しました。

40～64歳の特定健診受診率は、ベースライン値と比較して増加しましたが、目標には達していません。がん検診も目標達成には及びませんでした。

健診結果を見ると、男性、女性ともに肥満の人の割合が増加しています。

（1）健診受診率関連

指標		平成25年度 ベースライン値	平成30年度 中間評価値	令和5年度 最終評価	目標	評価
特定健診受診率※1	40～64歳	25.3%	50.6%	34.6% (県:33.0%)	70.0%以上	B-
	65～74歳	46.2%	54.2%	44.1% (県:36.2%)	60.0%以上	D
がん検診を受ける人の割合（40～69歳、子宮がんのみ20～69歳）※2	胃がん	16.4%※3	11.9%	9.2%	20.0%以上	D
	大腸がん	22.6%※3	15.3%	11.9%	20.0%以上	D
	肺がん	25.1%※3	19.0%	13.2%	20.0%以上	D
	子宮がん	14.8%※3	14.6%	12.5%	20.0%以上	D
	乳がん	21.1%※3	16.0%	14.1%	20.0%以上	D

※1：特定健診・特定保健指導情報データを活用した分析・評価（令和2年度）

※2：愛知県がん検診結果報告

がん検診を受ける人の割合は、計画策定後に対象者算出条件が変更されたため、平成30年度（中間評価値）と現状値を比較し評価しました。

※3：対象者は40～64歳、子宮がんのみ20～64歳

(2) 健診結果や衛生指標関連

指標		平成 25 年度 ベースライン値	平成 30 年度 中間評価値	令和 5 年度 最終評価	目標	評価
心不全による死亡率の減少（標準化死亡比）※ <sup>1</sup>	女性	205.5	116.3	111.1	減少	A
脳血管疾患による死亡率の減少※ <sup>1</sup>	女性		132.0	94.7	減少 限りなく100に 近づける	A
肥満の人の割合 (BMI 25 以上) ※ <sup>2</sup>	40～64 歳男性	25.6%※ <sup>3</sup>	32.7%	37.4% (県平均37.1%)	15%以下	D
	40～64 歳女性	18.8%※ <sup>3</sup>	21.2%	22.2% (県平均20.4%)	10%以下	C
	65～74 歳男性		25.1%	28.8% (県平均30.9%)	20%以下	D
	65～74 歳女性		21.4%	24.1% (県平均22.7%)	20%以下	D
自分の正しい適正体重を知っている人の割合	男性（20 歳以上）	77.2%※ <sup>3</sup>	74.7%	65.9%	85.0%以上	D
	女性（20 歳以上）	68.0%※ <sup>3</sup>	66.7%	73.2%	85.0%以上	B-
自分の正しい適正体重を認識し体重コントロールをする人の割合	男性（20 歳以上）	20.6%※ <sup>3</sup>	36.8%	56.1%	40.0%以上	A
	女性（20 歳以上）	29.3%※ <sup>3</sup>	39.7%	50.4%	60.0%以上	B+

※<sup>1</sup>：愛知県衛生研究所

※<sup>2</sup>：特定健診・特定保健指導情報データを活用した分析・評価（令和2年度）

※<sup>3</sup>：対象者は20～64歳。中間評価で対象年齢層を変更したため、平成30年度（中間評価）と現状値を比較し評価しました

※印のないものは幸田町健康づくりに関するアンケート調査結果

### (ク) 社会で支える健康づくり

地域の人と交流できるイベントの開催や地域団体と連携した健康づくり活動の推進、地域活動やボランティア活動の育成や支援に取り組みました。

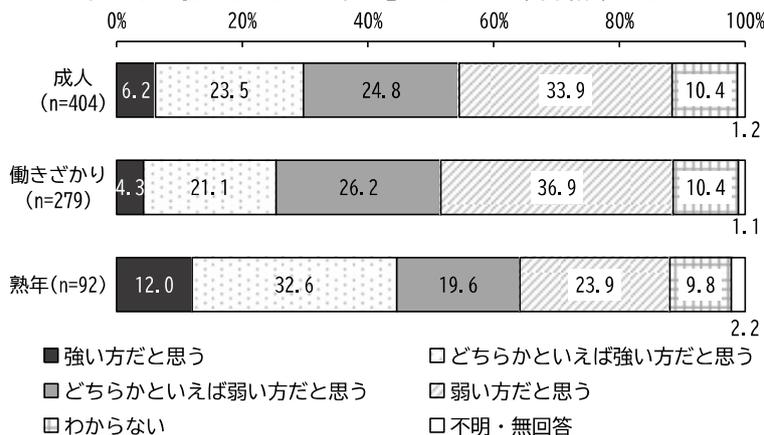
地域のつながりについては、熟年世代よりも働きざかり世代でより「つながりが弱い」と感じている割合が高いです。

交流がない人より交流がある人の方が生活が楽しいと思っている人の割合が高いです。

指標		平成 25 年度 ベースライン値	平成 30 年度 中間評価値	令和 5 年度 最終評価	目標	評価
地域の人たちとのつながりは強い方だと思う人の割合	成人	31.0%	25.9%	29.7%	増加	D
過去 1 年間に何らかのボランティア活動をしている人の割合	成人	24.0%	21.5%	21.8%	増加	D
区の行事に参加している人の割合	成人		35.0%	25.0%	増加	D

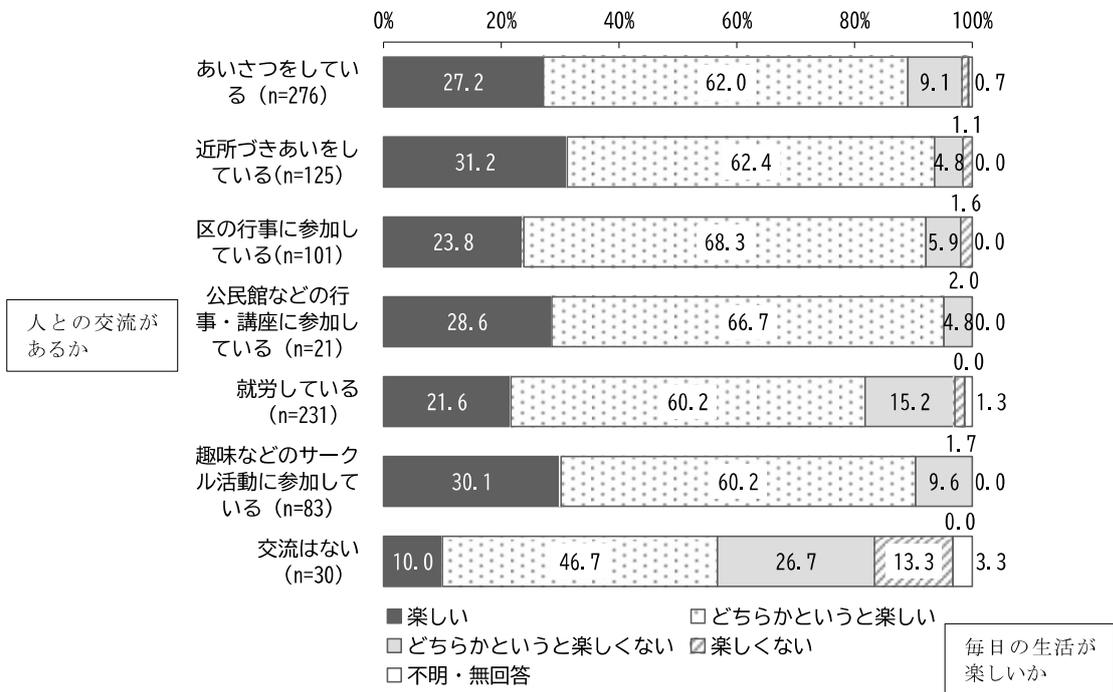
幸田町健康づくりに関するアンケート調査結果

#### ■ 『地域の人たちとのつながりは強い方だと思う人』のクロス集計結果（成人）



比率はすべて百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が 100.0%にならない場合もあります。

■ 『人との交流があるか』と『毎日の生活が楽しいか』のクロス集計結果（働きざかり・熟年）



出典：令和5年度健康づくりに関するアンケート調査結果